

議会だより

5月臨時会

5月7日(水)に臨時議会が開かれ、議長、副議長、常任委員会の構成などが決められました。
また、専決処分の黒埼町税条例の一部を改正する条例や平成8年度黒埼町一般会計補正予算などの3議案が審議され、すべて可決しました。
ここで、新しい町議会の構成と臨時議会で審議された議案についてお知らせします。

日程
5月7日(水) 会期の決定、議案の上程…議案の説明・質疑・討論・採決(議案29～31)、(黒議選1～5)、(黒議推薦1)

議長に高橋喜一氏

副議長に大野仁平治氏

水道事業特別会計補正予算へ第6回(議案31)
歳入歳出とも9万9千円を減額し、総額11億600万5千円とする。
議長の選挙について(黒議選第4号)



議長に高橋喜一氏が選ばれた。



副議長に大野仁平治氏が選ばれた。
副議長の選挙について(黒議選第5号)

議案

■専決処分の承認を求めることについて(黒埼町税条例の一部を改正する条例)(議案第29号)
町民税所得割の課税所得700万円を超える金額の税率を100分の11から100分の12に改めるなど。
■専決処分の承認を求めることについて(平成8年度黒埼町一

般会計補正予算(第9回)(議案30)
歳入歳出とも1億1010万4千円を増額し、総額73億9004万9千円とする。
○補正された主なもの
財政調整基金積立金8000万円、地域福祉基金積立金2400万円、ごみ収集委託料604万6千円など。

■専決処分の承認を求めることについて(平成8年度黒埼町下

副議長に大野仁平治氏が選ばれた。
■常任委員会の委員の選任について(黒議選1)
左表のとおり選任された。
■議会運営委員会の委員の選任について(黒議選2)
左表のとおり選任された。
■三条・燕・西蒲・南蒲広域養護老人ホーム施設組合議員の選挙について(黒議選3)
同組合議員に横山仁幸氏が選ばれる。
■農業委員会委員の推薦について(黒議推薦第1号)
議会推薦の農業委員に永井武弘氏、笠原満夫氏を推薦する。

※以上のほか、議案にありませんが、各規約に基づき左表のように議会選出の各種団体の委員が決まりました。

黒埼町議会委員会構成 (○委員長、○副委員長)

委員会名	委員氏名				
総務文教委員会	○山際 信三 ○川合 敏秋 高橋 博男	江端 年一 磯部 黒川	永井 武弘 宮田 兼好		
産業建設委員会	○岩野 弘昌 ○大矢 一夫 白川 耕	高橋 勇 伊藤 健三 渡辺 みつ子	逢坂 信行		
厚生企業委員会	○横山 仁幸 ○丸山 慧治 高橋 喜一	大野 仁平治 笠原 満夫 成海 仁助	明戸 和枝		
議会運営委員会	○伊藤 健三 ○黒川 繁 大野 仁平治	笠原 永井 成海	満夫 武弘 仁助	逢坂 信行	
流域下水道推進特別委員会	○黒川 繁 ○白川 耕 大野 仁平治	江端 年一 永井 武弘 成海 仁助	伊藤 健三 横山 仁幸		
新潟ふるさと村周辺振興対策特別委員会	○磯部 博 ○川合 敏秋 大野 仁平治	高橋 博男 岩野 弘昌 明戸 和枝	宮田 兼好 逢坂 信行		
南部地域振興対策特別委員会	○高橋 勇 ○丸山 慧治 大野 仁平治	笠原 満夫 山際 信三 渡辺 みつ子	大矢 一夫		
一般会計予算審査特別委員会	○山際 信三 ○川合 敏秋	ほか全議員			
新潟市合併問題対策特別委員会	○江端 年一 ○伊藤 健三	ほか全議員			

黒埼町議会選出各種団体委員名簿

委員会名	委員氏名				
黒埼町監査委員	江端 年一				
新潟地区広域清掃事務組合監査	大矢 一夫				
黒埼町表彰委員会委員	高橋 喜一	大野 仁平治	山際 信三		
黒埼町都市計画審議会委員	高橋 喜一	大野 仁平治	岩野 弘昌		
黒埼町国民健康保険運営協議会	高橋 喜一	横山 仁幸	永井 武弘		
黒埼町公営企業運営委員会委員	横山 仁幸				
黒埼町農業委員会委員	永井 武弘	笠原 満夫			
黒埼町農業振興協議会委員	高橋 喜一	山際 信三			
黒埼町農政対策協議会常任委員	成海 仁助	白川 耕			
黒埼町農作物病害虫防除協議会	高橋 喜一	大矢 一夫			
黒埼町農業振興地域整備促進協議会委員	高橋 喜一	大野 仁平治	川合 敏秋		
黒埼町露店市場管理運営委員	高橋 勇				
黒埼町商工振興審議会委員	高橋 喜一	岩野 弘昌			
黒埼町融資委員会委員	大野 仁平治				
黒埼町工場誘致審査委員会委員	高橋 喜一	大野 仁平治	山際 信三		
黒埼まつり実行委員会委員	高橋 喜一				
黒埼町青少年問題協議会委員	高橋 喜一	山際 信三			
黒埼町社会教育委員会委員	高橋 喜一				
黒埼町公民館運営審議会委員	大野 仁平治	山際 信三			
黒埼町社会福祉協議会理事	黒川 繁				
新潟地区広域清掃組合議員	高橋 喜一				
新潟地域広域市町村圏審議会委員	高橋 喜一	大野 仁平治			
三条・燕・西蒲・南蒲広域養護老人ホーム施設組合議員	横山 仁幸				

話かこ

大事なのは何語が話せるではなく、人に伝えられる事

4月20日(日)、新潟ユニゾンプラザでヒッポファミリークラブのYear Long(長期留学)準備ワークショップがありました。長期留学のプログラムは、今年初めて導入され、新潟市から3名、長岡市から1名、巻町から1名の計5名が7月に、それぞれの国へ出発します。対象者は高校生のみですが、20日のワークショップには、2歳の幼児から60歳のお父さんまで、たくさんのメンバーが集まりました。

ワークショップでは、留学に参加する高校生のそれぞれの話があり、その一つを紹介したいと思います。

「私は、今回このプログラムに参加する事を高校の先生に報告したら、即反対されました。先生は「なんにも今外国に行かなくても卒業したらいくらでも行けるんだから。学校を休学してまで行く事はない。進学だつてむずかしくなる。外国行く時間があるなら試験勉強して、英語を覚えたほうがいいだろう」と言って、思いとどまらせようと思いました。私もいろいろ考えましたが、やっぱり私は今行きたいんだ。私にとって今じゃなきゃだめなんだって思ったので何度も先生と話し合っただけに親にも来てもらったりして、なんとか行ける事になりました。今は友達も、先生もわかってきています。留学の事が決まって少し不安になったのは、スティ先のホストに日本の事、例えば歴史や政治、経済そして宗教、教育などについて聞かれたらちゃんと答えられるのかという事でした。私の家には、よく留学生などがホームステイをしますが、彼らは自分の考えを持ち、自分の国の事をよく知っていました。ホームステイ(留学)をするという事は、ただ外国へ行って、外国の言葉が言える様になる事ではないんだと思いました。外国に行くには、自分の事、自分の国の事が、わかっていなければならないし、考えや思いを相手につたえる努力が必要なんだと思います。大事なのは、何語が話せるではなく、人に伝えられる事なんだと思いました。どんな国の人でも同じ。日本人でもアメリカ人でも韓国人でも同じ人間なんだから、わかりあえるって気がします。準備を進めていくにつれ、不安が期待にかわっていく感じです。同じを見つける事が、わかりあえる近道の様な気がします。7月からの留学が今からとても楽しみです」

私は、小3、年長、年少の息子達をつれて、参加しましたが、いつか我が家の息子達も、彼らの様に希望をもって広い世界に飛び出して行ってほしいと思っています。

ヒッポファミリークラブ フェロウ 会野 ゆかり

長期留学及びヒッポファミリークラブについてのお問い合わせは

言語交流研究所
東京都渋谷区松濤1-4-7
☎03-467-6151